

代表決定戦 松島運動公園野球場 2 時間 3 分

東北学院	0	0	1	0	2	0	0	0	0
仙台育英	0	0	0	0	0	1	2	1	x

【東】	30	4	2	3	0	7	8	7	0	1
【仙】	30	8	4	1	0	3	2	5	2	0

(球)	山館	(一)	阿部徳	(二)	布田	(三)	曾根
【東】	佐藤・佐々木	—	—	—	宮守	—	—
【仙】	伊藤・長嶋・児玉駿	—	—	—	郡山	—	—
▽暴投	伊藤1,長嶋1(育)	▽ホーク	なし	▽捕逸	なし		

▽本塁打	なし
▽三塁打	なし
▽二塁打	北岡郡山 (東)(仙)

【東北学院】			打	安	点
(中)	益	野	2	0	0
打	阿	部	1	0	0
(右)	相	澤	2	0	0
(左)	松	岡	4	1	2
(三)	佐	藤	4	0	0
(捕)	宮	主	2	0	0
走	菅	守	0	0	0
投	佐	木	0	0	0
(二)	菅	谷	4	1	0
(一)	北	岡	4	1	0
(投)	佐	藤	3	0	0
(捕)	加	誠	1	0	0
(遊)	山	藤	3	1	0
		下			

【仙台育英】			打	安	点
(遊)	佐	藤	3	1	1
(右)	菅	野	4	1	0
(中)	小	松	4	2	0
(捕)	郡	山	4	1	1
(投)	伊	藤	1	0	0
投	長	嶋	1	0	0
一	小	野	1	0	1
(左)	千	葉	4	1	1
(一)	児	玉	2	1	0
(三)	勝	田	3	1	0
(二)	小	幡	3	0	0

計 30 4 2

計 30 8 4

【評】

力強い投球の育英伊藤とコーナーを丁寧に投げ分ける学院佐藤誠の両投手の安定したマウンド裁きに、まず学院が3回、四球を足がかりに先取点をあげ、さらに5回、2死から3番松岡の勝負強いバッティングで2点を追加し、試合の主導権を握ったかと思われた。しかし、育英は7回、それまで学院の好守に阻まれていた強力打線に、コースに逆らわないチームバッティングが加わり、同点に追いついた。そして8回、四球をきっかけに手堅くバント攻撃を仕掛け、それが功を奏し2連続のバント安打を生み、逆転に結びつけた。最後まで諦めず硬軟に富む攻撃と、3投手が持ち味を十分に発揮した育英が20回目の南東北大会への出場を決めた。

第61回全国高等学校軟式野球選手権南東北大会 宮城県代表

仙台商業高等学校 (3年連続19回目)

第61回全国高等学校軟式野球選手権南東北大会 宮城県代表

仙台育英学園高等学校 (10年ぶり20回目)